

注意事項：基板上に実装してある電子部品は静電気に弱く、静電気によって破損する可能性があります。交換作業を行う場合は、身の回りにある金属部分に触れ静電気を除去してから、作業を行って下さい。

また、交換方法はハードディスクの製造ロットによって異なる可能性があります。本書を参考にして作業を行う際はその旨、ご了承下さい。

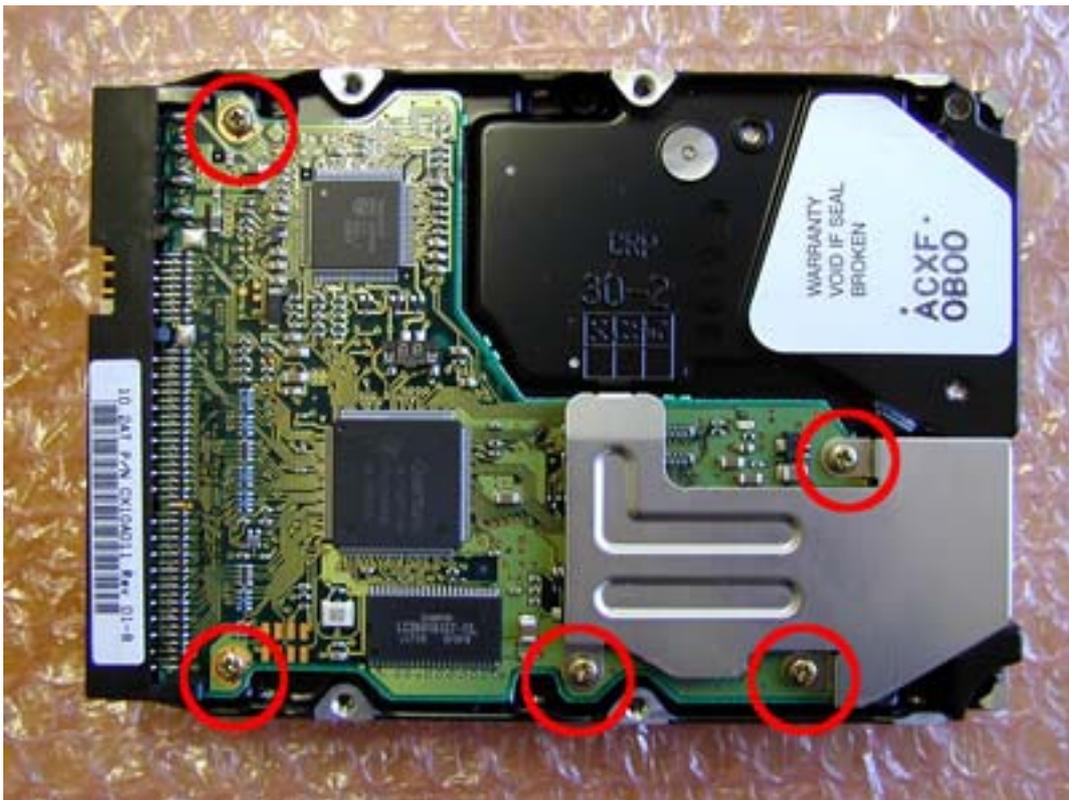
必要な工具

プラスドライバー サイズ No.1

マイナスドライバー サイズ No.1 前後

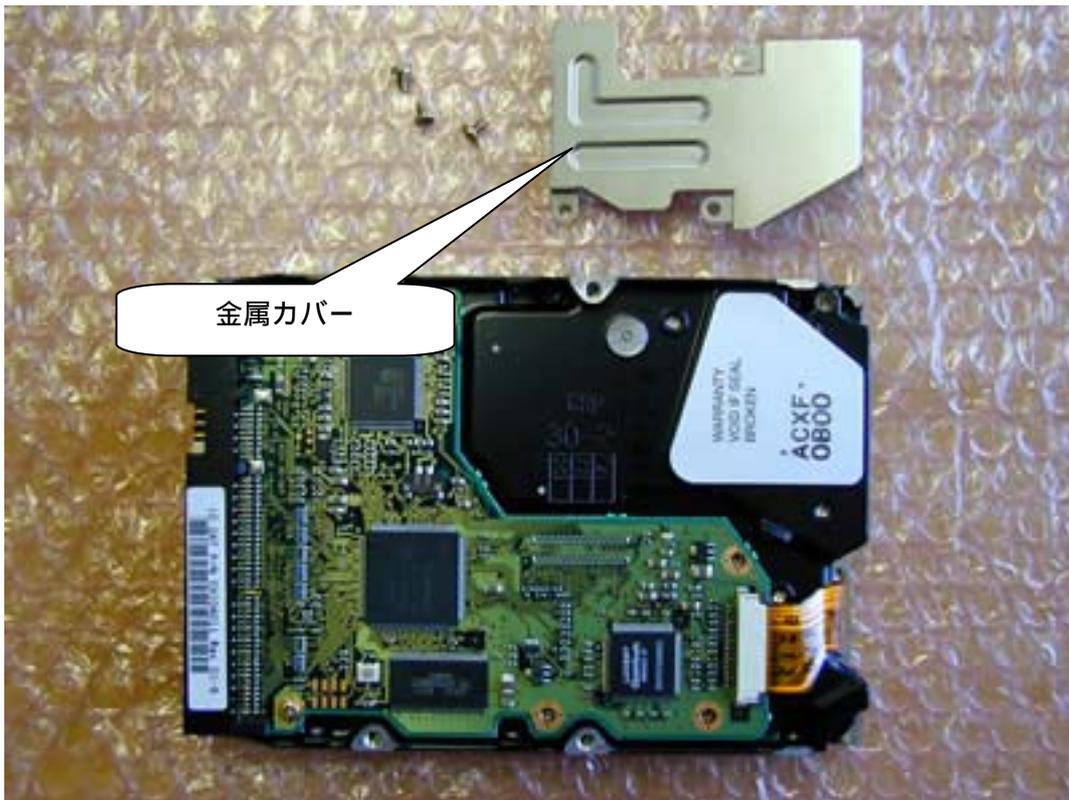
1. 基板の取り外し

1). 赤丸で囲んである5つのネジを外します。



2). 金属カバーを取り外します。

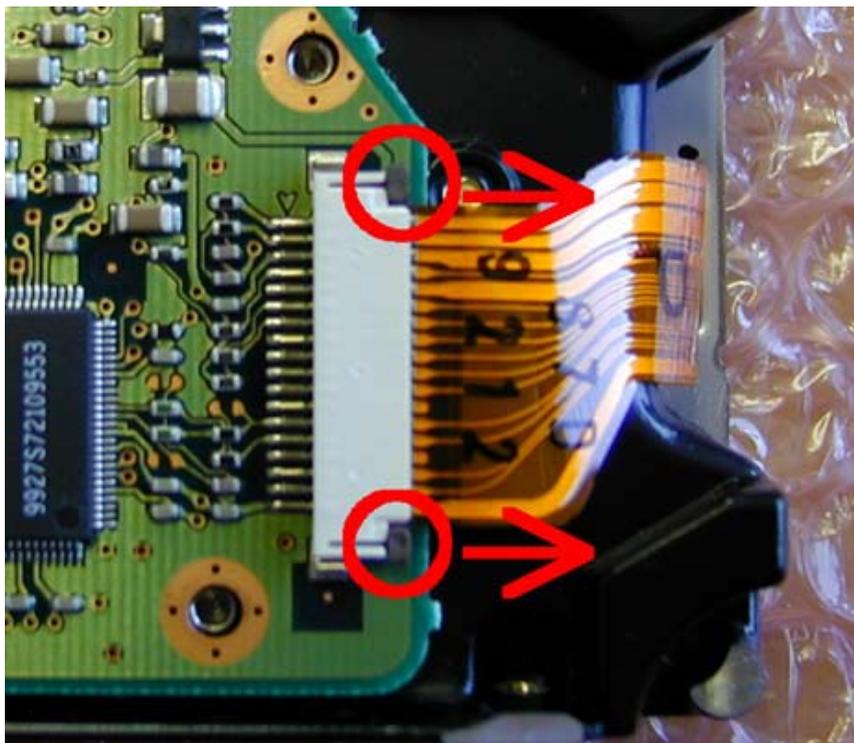
(ロック等はありませんので、ネジさえ外せば簡単に外せます。)



3). ハードディスク本体から出ているフレキシ基板を外します。

下の写真のようにコネクタにロックされていますが、赤丸のロック爪を矢印の方にマイナスドライバー等でずらすことでロックが解除されます。

ロックを外す際、フレキシ基板を傷つけないよう注意してください。



4). コネクタのロックを外した後、フレキシ基板をコネクタから抜きます。

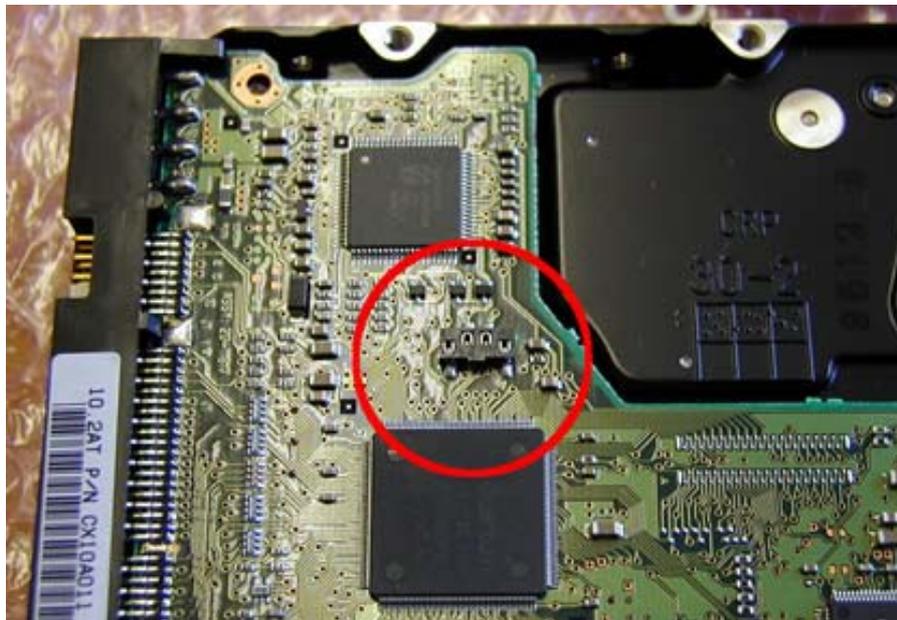
個体によっては多少抜く際にきつい場合がありますが、フレキシ基板を傷つけないためにペンチ等の使用は絶対に避けてください。

フレキシ基板の両端を持って少しずつ引き出すと上手くいきます。



5). ネジ5本とフレキシ基板を外した後は下の写真の赤丸の部分で、基板とハードディスク本体が繋がっているだけになります。

基板に無理な力を加えず、垂直方向に基板を外すことで、この勘合部分もはずれます。



6). 基板を外した後のハードディスク本体、及び5). の勘合部拡大写真



7). 取り付けは取り外しの手順を逆に行ってください。

データのバックアップ等を取られる際にはジャンパーピンの設定をご確認下さい。